

## 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課  
担当課長名：服部 卓也

<b>事業名</b>	重要物流道路 都市計画道路 羽沢池辺線 (羽沢・菅田地区)	<b>事業区分</b>	街路	<b>事業主体</b>	横浜市
<b>起終点</b>	自：神奈川県横浜市神奈川区羽沢南二丁目 至：神奈川県横浜市緑区鴨居町	<b>延長</b>	3.2 km		
<b>事業概要</b>					
<b>目的</b> 都市計画道路羽沢池辺線は、横浜市内の幹線道路網の骨格となる3環状10放射道路の一部を構成する道路であり、環状2号線から港北ニュータウンや東名高速青葉インターチェンジ方面へのアクセスが強化、物流の拠点間アクセスの向上を目的とし横浜市神奈川区羽沢南二丁目～緑区鴨居町までの延長約3.2 kmを整備するものである。					
S62年度事業化		H4年度都市計画決定		H元年度用地着手	
S62年度工事着手		— km			
<b>全体事業費</b>	約346億円	<b>事業進捗率</b>	約44%	<b>供用済延長</b>	— km
<b>計画交通量</b>	27,700～42,400台/日				
<b>費用対効果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 2.4 (残事業) 7.1	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 154/460億円 事業費：149/456億円 維持管理費：5/5億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 1,095/1,095億円 走行時間短縮便益：1,038/1,038億円 走行経費減少便益：53/53億円 交通事故減少便益：4/4億円	<b>基準年</b>	令和4年
<b>感度分析の結果</b>					
(事業全体) 交通量：B/C=1.8～3.4 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=5.3～10 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.2～2.6 (事業費±10%) 事業費：B/C=6.7～8.2 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.7～3.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=5.6～8.2 (事業期間±20%)					
<b>事業の効果等</b>					
・内陸北部工業地域と、貨物駅（横浜羽沢駅）や横浜港等の物流拠点を結ぶネットワークが構築され、物流の安定的な輸送能力が確保される。 ・災害・緊急時における緊急物資の輸送や緊急車両の通行路としての機能強化が図られる。					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
「道路整備の促進を求める神奈川県大会」から、本事業の早期整備の要望を受けている。					
<b>事業評価監視委員会の意見</b>					
事業継続を妥当と認める。					
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b>					
・横浜北線や横浜北西線の開通、内陸北部工業地域に大型物流倉庫が開業されている。 ・令和4年4月1日に、当該事業区間が「横浜市道羽沢池辺線」として重要物流道路に指定。					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
用地取得率約86%、事業進捗率約44%					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
引き続き用地交渉を進めるとともに施工可能な部分の工事を行い、令和11年度の完成に向け進めていく。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト縮減を行うとともに、舗装、構造物についても、設計段階から可能な限りコスト縮減に努める。					
<b>対応方針</b>					
事業継続					
<b>対応方針決定の理由</b>					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。